



一般社団法人ソフトウェア協会と包括連携協定を締結しました

5月25日、一般社団法人ソフトウェア協会様と包括連携協定を締結しました。

ソフトウェア協会様は、「ソフトウェア(国)の未来を創る」をビジョンに掲げ、産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的に活動されています。

この協定により、市の教育、福祉、文化、まちづくり等の様々な分野でデジタル化を推進し、スマートシティの実現に向けた取り組みを進めていきます。

官民連携で様々なデータを利活用し、地域課題の解決、総合的な市民サービスの向上を目指してまいります。



武雄市防災パトロールを実施しました

5月27日、武雄市防災パトロールを実施しました。

これは、本格的な出水期を前に関係機関と情報共有を行い、大雨などの異常気象時等の対応を再確認するとともに、防災体制の強化を図ることを目的として、毎年行っております。

今年は令和元年、3年の8月豪雨による地すべり箇所の巡回を行い、現状の確認や地すべり対策等の進捗状況などについて確認をしました。

「いつ・どこで・どのように」起こるか分からない、さまざまな災害に対し、十分な備えを怠ることがないよう今後も努めてまいります。皆さまも日頃からの備えをお願いします。



武雄スポーツフェスタ2022が開会しました

5月14日、白岩体育館で武雄スポーツフェスタ総合開会式が開催されました。

開会式では、武雄市体育協会川原千秋会長、小松市長、吉川里巳議長の挨拶に加え、優勝旗や躍進杯の返還が行われました。また、9町を代表して武雄町の小笠原恵介さんが力強い選手宣誓を行いました。

式後には、初種目「アジャタ(スポーツ玉入れ)」を各町で競い合い、激戦の末、武内町が優勝を勝ち取りました。

これから、武雄スポーツフェスタ2022は令和5年1月までの間、29種目の競技が執り行われます。

市民の皆さま、応援よろしくお願いします。



「田んぼダムせき板設置式」が開催されました

6月10日、東川登町内田地区の田で東川登町の区長会や農家の皆さま、山口知事、小松市長などの出席のもと「田んぼダムせき板設置式」が開催されました。

田んぼダムとは、流域治水の取り組みの一つで、下流域の浸水被害を軽減するため、大雨時に上流域の農家が田に一時的に雨水を貯留するものです。

橘町の小田良博区長会会長からは「少しでも水位が下がるようにと協力していただけるのはありがたい。」と感謝の意を示されました。

今年度は、六角川上流域の東川登町、西川登町、朝日町の農家の皆さまのご協力により約164haで実施されます。